

- 建築文化週間 2008 -

建築夜楽校 2008 特別編

テーマ：ヴェネチアビエンナーレからアーキニリング・デザイン展へ

～ 帰国報告を通して見える、未来～

主 旨：

第 11 回ヴェネチアビエンナーレ建築展が、2008 年の 9 月 14 日から 11 月 23 日まで開催されます。日本館では、コンペを経て、五十嵐太郎がコミッショナーをつとめることが決定し、建築家の石上純也と植物学者の大場秀章が小さな温室群を屋外に設置することになりました。タイトルは、「EXTREME NATURE landscape by ambiguous space」です。緻密な構造計算によってぎりぎり成立する、極端な性質をもつ華奢な「建築」は、1/1 の実験的なパヴィリオンです。それらはモノとしての存在感を限りなく薄くしており、まわりの風景のなかに溶け込んでいくでしょう。構造設計を担当するのは、佐藤淳です。ヴェネチアビエンナーレの日本館のプロジェクトは、10 月 17 日からスタートするアーキニリング・デザイン展 2008 でも紹介される作品であり、帰国報告会はその前夜祭というべきイベントになります。帰国報告会では、ヴェネチアビエンナーレのオープニングから戻ったばかりのメンバーが、現地の展示の様子をレポートします。いかにプロジェクトを遂行したか、他の国との比較や評価などについても、日本で最初にはなしを聞くことができる、貴重な機会になるでしょう。

日 時：10 月 10 日（金）18:00～20:30（開場 17:30）

パネリスト：

建築について

石上純也（建築家・石上純也建築設計事務所）

構造について

佐藤 淳（構造家・佐藤淳構造設計事務所所長）

他の国の展示について

五十嵐太郎（建築批評家・東北大学准教授）

コメンテータ：斎藤公男（日本建築学会会長）

会 場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

定 員：300 名（当日先着順）

参加費：無料

問合せ：日本建築学会事務局出版・普及事業グループ 鎌田

TEL 03-3456-2056 E-mail kamata@aij.or.jp